

平成 15 年度「経済学と現代」昼間コース —中間試験問題—

【問 1】限界効用に関する正しい記述 (1 つ) は、次のうちどれか? (5 点)

- (1) 限界効用とは、ある消費量に対する効用の総量を意味する。
- (2) 消費量とともに効用は減少するので、限界効用曲線は右下がりである。
- (3) 限界効用逓減の法則が成り立てば、限界効用曲線は右下がりになる。
- (4) 限界効用は効用の絶対的な大きさを意味するものとしているので、序数の効用を前提としている。

【問 2】無差別曲線に関する誤った記述 (1 つ) は、次のうちどれか? (5 点)

- (1) 無差別曲線は様々な消費バスケットに対する消費者の好みの順序を表したものであり、序数的効用を前提としている。
- (2) ある無差別曲線より北東の領域にあるすべての消費バスケットは、その無差別曲線上のどのバスケットよりも高い満足をもたらす。
- (3) 限界代替率逓減の法則が成り立てば、無差別曲線は右下がりになる。
- (4) 限界代替率逓減の法則が成り立てば、無差別曲線は原点に対して凸になる。

【問 3】予算制約に関する誤った記述 (1 つ) は、次のうちどれか? (5 点)

- (1) 予算制約を満たす消費バスケットの集合を、消費の機会集合と呼ぶ。
- (2) 予算制約線上の消費バスケットはつねに、予算を使い切らないどんな消費バスケットよりも高い満足をもたらす。
- (3) 予算制約線の傾きの絶対値は、2 財の価格比 (相対価格) である。
- (4) ある財の価格が上昇すると、その財の消費量をグラフの縦軸にとるならば、予算制約線は横軸切片を中心に反時計回りに回転する。

【問 4】消費選択に関する正しい記述 (1 つ) は、次のうちどれか? (5 点)

- (1) 財 Y に対する財 X の限界代替率が相対価格 (財 X の価格 / 財 Y の価格) より小さいとき、財 X を減らして財 Y を増やした方が満足は高まる。
- (2) 財 Y に対する財 X の限界代替率が相対価格 (財 X の価格 / 財 Y の価格) より大きいとき、財 X を減らして財 Y を増やした方が満足は高まる。
- (3) 最適な消費バスケットは、予算を使い切らないこともある。
- (4) 所得が増えたときはいつも、すべての財の消費量を増やすことが最適選択である。

【問5】以下の用語の経済的な意味を簡潔に説明しなさい。(計10点)

- (1) 限界代替率逓減の法則(5点) (2) 消費者余剰(5点)

【問6】2財 X と Y を消費する消費者を想定する。所得を I , 2財の価格をそれぞれ p_x と p_y で表す。(計20点)

- (1) 解答欄にあるグラフの中の A 点が最適消費点であるとする。このとき、予算制約線および A 点と B 点を通る無差別曲線をそれぞれグラフに描きなさい。ただし、 B 点は予算制約線上にあるものとする。(10点)
- (2) 財 X が劣等財, 財 Y が正常財であるときの所得消費曲線を、解答欄のグラフに描きなさい。ただし、必要な予算制約線と無差別曲線も描き入れること。(10点)

【問7】2財 X と Y を消費する消費者を想定する。所得を I とし、財 X の価格を2、財 Y の価格を1とする。効用関数は以下のように与えられる。

$$U = 2x + 4 + 2\log y \quad (\text{計20点})$$

- (1) 財 X と Y の最適消費量をそれぞれ求めなさい。(12点)
- (2) 財 X と Y はそれぞれ、正常財, 中立財, 劣等財のうちのいずれであるか?(8点)

【問8】貨幣の保有量を m , 財 X の価格を p で表し、所得(貨幣の初期保有量)を1200とする。効用関数は、以下のように与えられる。

$$U = 2(400 - x)x + 8m \quad (\text{計20点})$$

- (1) 財 X の需要曲線を導出しなさい。(8点)
- (2) $p = 40$ のとき、財 X への実際の支払総額はいくらか?(6点)
- (3) $p = 40$ のとき、財 X からの消費者余剰はいくらか?(6点)